

トピックス

・岡山大学 Alumni (全学同窓会) が「岡大アラムナイネット」を開設

本学 Alumni (全学同窓会) は、交流ウェブサイト「岡大アラムナイネット」を開設しました。本学の同窓生、在学生、教職員、教職員 OB・OG 等を対象とした交流サイトで、さまざまな交流が可能になります。このネットワークを活用した、在学生に対する就職支援ネットワークの構築も目指しています。

参考 http://www.okayama-u.ac.jp/tp/news/news_id4668.html

・名誉教授称号授与式を開催

本学は5月30日、名誉教授称号授与式を岡山市内で開催しました。名誉教授の称号は長年にわたり教育、学術について功績のあった人に対して授与されます。今年度は新たに24人が名誉教授となり、式に出席した13人に森田潔学長から称号証が授与されました。

参考

http://www.okayama-u.ac.jp/tp/news/news_id4646.html

・資源植物科学研究所植物科学研究棟が完成



本学資源植物科学研究所(倉敷キャンパス)の植物科学研究棟が完成し、6月3日、竣工式を開催しました。

植物科学研究棟は旧管理棟(2階建て)を改築したもので、3階建て(延べ2,361平方メートル)にスケールアップ。同研究所が保有する最先端研究機器を集約配置して、植物育成室や共同研究スペース等を整備・充実させました。国内外の研究者を結ぶハブ的研究拠点としての機能強化が図られ、世界に卓越した研究の一層の推進が期待されています。

式には、森田潔学長をはじめ、伊東香織倉敷市長、大原謙一郎公益財団法人大原奨農会理事長、神崎浩大学院環境生命科学研究所科長ら約100人が出席しました。

参考 http://www.okayama-u.ac.jp/tp/topix/topix_id350.html

最近の大学の取組

・「岡山大学若手職員塾」を開講 職員がスキルアップを目指す

大学の発展を担う大学職員の役割を考え、実践する力を養成しようと、本学は6月18日、「平成27年度岡山大学若手職員塾」を開講しました。

今年度は20~30代の12人が受講。プレ回では、門岡裕一事務局長が「大学改革について一予算・財務の視点から一」、社会文化科学研究科の黒神直純教授が「本学のSGU事業構想と育てる学生像」をテーマに講演しました。

参考

http://www.okayama-u.ac.jp/tp/news/news_id4683.html



最近注目の研究

・光合成光化学系 I 複合体の構造を解明～光エネルギーの高効率利用に前進～

自然科学研究科（理）の沈建仁教授（同大光合成研究センター長）、菅倫寛助教と中国科学院植物学研究所の共同研究グループは、光合成で光エネルギーを高効率に吸収し、水からの電子を利用して二酸化炭素を糖に変換するために必要な還元力を作り出している光化学系 I 複合体の構造を X 線結晶構造解析法で解析。2.8 Å 分解能で立体構造を明らかにしました。本研究成果、米国の科学雑誌「Science」の Research Article として掲載され、同誌の表紙でも紹介されました。

参考 http://www.okayama-u.ac.jp/tp/release/release_id303.html

・体外で生体組織成長を促進するゲル材料を開発

医歯薬学総合研究科（歯）生体材料学分野の松本卓也教授、武田宏明助教らの研究グループは、体外で生体組織成長を促進するゲル材料の開発に成功。マウスから取り出した唾液腺組織を培養したところ、成長が大きく促進されることを確認しました。本研究成果は、体外での移植可能な生体組織作製の実現を加速する基盤材料として非常に有望で、生体外における移植可能な生体組織作製時間の短縮が期待されます。参考 http://www.okayama-u.ac.jp/tp/release/release_id306.html

・存在が否定されていた固液臨界点を世界で初めて発見

自然科学研究科（理）の望月建爾特任助教、甲賀研一郎教授の研究グループは、カーボンナノチューブ内部に閉じ込められた水の挙動を分子シミュレーションで解析。氷と水の区別がなくなる新たな臨界点（固液臨界点）が存在することを世界で初めて明らかにしました。本研究成果によって、ナノ空間における臨界現象の基礎研究が進展すれば、新規化学反応の開拓、生体分子構造制御技術の開発につながると期待されます。参考 http://www.okayama-u.ac.jp/tp/release/release_id305.html

学生の活躍

・卓球部が中国学生卓球選手権春季大会で優勝 男子団体は 24 年ぶりの快挙

本学卓球部は、5 月 21～24 日に島根県松江市で行われた「第 66 回中国学生卓球選手権春季大会」において、男子団体戦で優勝、女子団体戦で 3 位入賞を果たしました。男子団体戦優勝は 24 年ぶりとなる快挙です。

優勝に輝いた同部の平岡諒也主将（工学部 3 年）は「部員一同が日々練習を積み重ねてきた結果だと思います。インカレも中国学連代表として一戦一戦頑張ります」と意気込みを語りました。

また、個人戦ダブルスにおいても、小川泰司（農学部 4 年）・村上勇也（医学部 4 年）組が優勝。本学 17 年ぶりのダブルス優勝を果たしました。

参考 http://www.okayama-u.ac.jp/tp/news/news_id4641.html



行事予定

・七夕観望会 2015 ～35cm 望遠鏡で惑星を見よう～

7 月 7 日（火） 自然科学研究科棟 屋上

・岡山大学感染症制圧研究コア「感染症研究国際展開戦略プログラム」キックオフ・シンポジウム

7 月 16 日（木） Junko Fukutake Hall

岡山大学は、以下のページでも情報を発信しています

・岡山大学公式ホームページ <http://www.okayama-u.ac.jp/>

・岡山大学 Facebook ページ <https://www.facebook.com/OkayamaUniversity>

・岡山大学 Twitter https://twitter.com/okayama_uni

・岡山大学チャンネル <https://www.youtube.com/user/okayamaunivpr/videos>

【お問合せ先】 岡山大学広報・情報戦略室

Tel : 086-251-7292, 7293 Mail : www-adm@adm.okayama-u.ac.jp